

第1回大阪府地域職域連携推進協議会 議事概要

- 日時：令和5年8月23日（水）15時～17時
- 場所：公益社団法人 国民會館 小ホール

第3次大阪府健康増進計画の最終評価（案）について

- 現行計画である「第3次大阪府健康増進計画」の最終評価及びこれまでの取組みを説明するとともに、最終評価から次期計画に向けた課題と方向性について説明

【意見概要】

- 大阪府の健康寿命の比較について、全国に比べ大きく下回っている要因は
- 「身体活動、運動習慣」に改善がみられなかったことが、メタボリックシンドロームに関する評価結果に繋がったのでは
- メンタルヘルス関連の評価も良くないことから、今後の指標の改善を行っていく必要がある

【事務局回答 概要】

- 健康寿命は、様々な要因が関与している指標であり、明確な要因分析は難しい
- メタボリックシンドロームに係る評価を向上させるためには、特定健診受診率及び特定保健指導実施率の向上も重要

第4次大阪府健康増進計画（素案）の検討について

- 次期計画「第4次大阪府健康増進計画（素案）」における基本理念、基本目標、具体的な取組み、数値目標の項目等について説明

【意見概要】

- 数値目標について、以下の項目を追加してはどうか
 - ・高齢者のサルコペニア
 - ・フレイル
 - ・座位時間
 - ・行政や保険者、事業者側のICTの推進
- オーラルフレイルなど高齢者のアプローチについて、記載できないか
- 計画に基づく様々な取組みについては、予算まで含めて意識しておいてほしい
- 取組みの記載方法について、新規項目等がわかるよう記載の工夫を
- 現計画の最終評価でD評価であったものは、これまでと同じ取組みを続けるだけでは指標の改善につながらない
- テレビ、ラジオ、インターネット等で情報を収集する府民が多くなっているが、誤った情報も多くあることを懸念

- 万博を控えていることから、アプリ、PHR、ナッジの活用など大阪独自の新しく楽しい取組みの検討を

【事務局回答 概要】

- 数値目標に関しては、基本的に国方針を参考に設定している
- 計画に基づく各種取組みの事業化に向けて、毎年度予算確保に努める
- 取組みの記載方法について、新旧の取組みを併せて記載しているものもあり、新旧を書き分けることは難しいところもあるが、委員ご指摘のとおり、D 評価が続くことは望ましくなく、わかりやすい説明が必要
- 府民が正しい情報を選んで活用できるよう、ヘルスリテラシーを高めていく必要があると認識
新しく、府民が楽しめるような取組みを行い、さらに、健康増進の気運を醸成していくことが必要